

中学校における部活動の地域移行について

(質問) 部活動の地域移行の考え方とは。

(答弁) 少子化が進展する中で学校単位でチームを編成できず大会に参加できなくなることや、学校規模の縮小による教職員定数の減少に伴い、専門的な技術指導ができる教員を配置できない現状がある。また教員の休日の部活動指導による長時間労働は看過できない状況である。こうした状況を課題と捉え、生徒が将来にわたりスポーツや文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保と教員の働き方改革を一体的に推進することを目指している。

その他の質問 ○ふるさと納税



途切れのない家庭支援について

(質問) ①女性の相談窓口の現状と市の対応について、②夜間や休日の一時預かりについて、③災害時における妊婦や乳児を持つ子育て家庭への支援について伺う。

(答弁) ①年間約500件の相談を受けており、夫婦間の問題が約半数。②子育て支援ショートステイ事業や児童相談所による一時保護など、家庭に応じた対応を実施。③妊娠期から継続して子育て家庭との接点を持ち、きめ細やかなケアと迅速な対応を日ごろから心掛けている。

その他の質問 ○子宮頸がんワクチン



社会的孤立問題について

(質問) 孤独・孤立は、誰にでも起こり得る。誰も孤立させない、ひとりぼっちをつくらせないために、実態の把握や対応、支援策が重要である。本市の現状について尋ねる。

(答弁) 安心して相談や支援を求められるよう、窓口や支援内容などを分かりやすく発信する。くらしサポートセンターを開設し、就労準備支援事業など、相談支援員が個々に継続的に寄り添った支援を実施する。悩む人に気づき支えるメンタルパートナーの養成講座を産業分野の関係機関と連携し、職域にも機会を拡大できるよう取り組む。



南海トラフ地震臨時情報発表に伴う対応について

(質問) 提供開始5年にして初めて発表された南海トラフ地震臨時情報に、本市はいかに対応したのか。また今後に向けた展開は。

(答弁) 8月8日16時43分頃の日向灘を震源とする地震発生を受け、災害対策本部を設置し、17時45分には第1回災害対策本部会議を開催。8月15日17時に災害対策本部を廃止した。今回は適切に対応できたが長期的対応が必要な場合も想定し検証を進めており、必要に応じて地域防災計画やマニュアルなどを改正する。

その他の質問 ○鈴鹿の郷土教育○鈴鹿市の建設業を取り巻く現状



天栄中学校区の取り組みについて

(質問) 学校再編計画意見募集結果の公文書公開に係る不服審査請求について問う。また、小学校再編計画アンケート実行委員会が実施した小学校再編計画アンケート集約結果についての考えを問う。

(答弁) 審査請求については、情報公開審査会からの答申内容を確認の上、適切に対応を行っていく。アンケート結果については、一部再編計画に反対する住民の方の気持ちを再認識した。今後も「天栄中学校区における学校再編計画」に基づき再編の準備を丁寧に進めていきたい。



将来を見据えた人口及び税収入の確保について

(質問) 本市の人口は減少をし続け、特に若者の人口流出は大きい。そこで①市の人口流出を防ぐ取り組み、②市の税収確保の取り組みおよび状況についてお聞きたい。

(答弁) ①前期基本計画の全基本施策を人口減少抑止策と人口減少社会適応策のいずれかに資する施策として位置付け、人口減少対策に取り組む。②個人市民税は今後減少する見込みだが、多様な納税方法の周知など、納税環境の改善や自主納付の促進の取り組みにより、適正な課税と徴収業務に努める。

その他の質問 ○災害時の避難に関する施策

